



2018 年 7 月 3 日
東日本旅客鉄道株式会社

鉄道車両内におけるさらなるセキュリティ向上について

鉄道車両内におけるセキュリティ向上については、山手線 E235 系への車内防犯カメラの設置や、今後新たに製造するすべての旅客車両へ防犯カメラを設置するなど、各種取組みを進めています。

さらなるセキュリティレベルの向上とお客さまに安心して鉄道をご利用いただくことを目的として、首都圏を走行する在来線車両と新幹線車両の一部を対象に、車内防犯カメラを追加設置します。また、首都圏を走行する在来線車両の乗務員室に防犯カメラを設置します。

- 1 車内防犯カメラを追加設置する車両
 - ① 首都圏を走行する既存の在来線車両
2018 年度夏以降、順次設置予定（約 8,300 両）
 - ② 既存の新幹線車両
2018 年度冬以降、順次設置予定（約 200 両）
- 2 乗務員室防犯カメラを設置する車両
 - ① 首都圏を走行する既存の在来線車両（運転台付きの車両）
2018 年度夏以降、順次設置予定（約 2,500 両）
- 3 その他
 - ① 防犯カメラの映像は、関係法令や社内規程等に基づき厳正に取り扱います。
 - ② 車内防犯カメラを設置する車両に、カメラが作動中であることを表示するステッカーを掲出してお客さまにお知らせします。

【参考】新幹線における犯罪防止の取組み例について

当社では、警察など関係機関のご協力をいただき、お客さまに安全に安心してご利用いただくために、新幹線における犯罪防止に取り組んでおります。具体的な取組内容は別添資料をご覧ください。

〔別紙1〕車内防犯カメラの整備内容

1. 主な対象車種



E233 系



E257 系



E2 系新幹線

2. カメラの整備箇所について

		首都圏通勤・近郊車両 209 系・E231 系・E233 系等	651 系特急 E257 系特急 新幹線 E2 系（一部追加）等
カメラ 整備箇所	デッキ等	・デッキ毎に2箇所（既設） （グリーン車のみ）	【今回整備】 ・デッキ毎に1箇所（図2）
	客室	【今回整備】 ・8箇所／両（図1・右図写真） ・6箇所／両（グリーン車）	【今回整備】 ・2箇所／両（図2）



【参考】カメラ付き LED 蛍光灯
首都圏通勤・近郊車両普通車の
乗降ドア付近の車内灯に設置
（画像はイメージ）

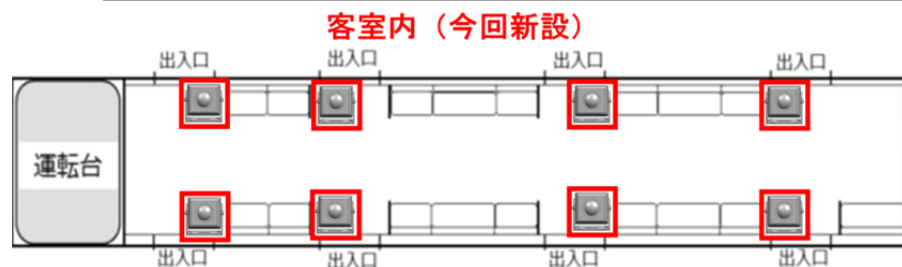


図1. 車内に8箇所設置イメージ

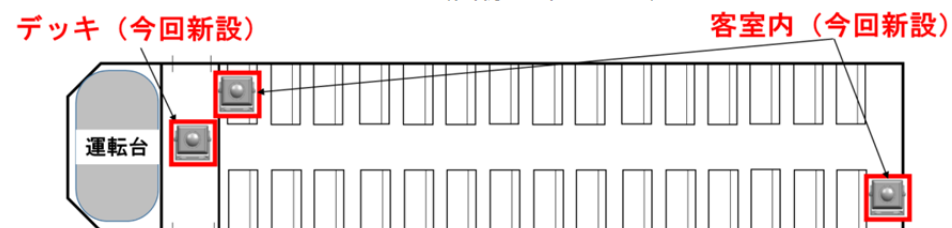


図2. 車内に3箇所設置イメージ

〔別紙２〕（参考）2018年4月3日プレス「車内防犯カメラの整備について」発表内容

1. 対象車種



E259 系成田エクスプレス



E353 系中央線特急



E657 系常磐線特急

2. カメラの整備箇所について

		(参考) 新幹線 E5系、E6系、E7系 E2系(一部)、E3系(一部)	(参考) E235 系山手線	E259 系成田エクスプレス	E353 系中央線特急 E657 系常磐線特急
カメラ 整備 箇所	デッキ等	・デッキ毎に2箇所	—	・デッキ毎に2箇所 ・荷物スペースに1箇所	・デッキ毎に2箇所
	客室	・2箇所／両(図2)	・4箇所／両(図1)	・2箇所／両(図2)	・2箇所／両(図2)

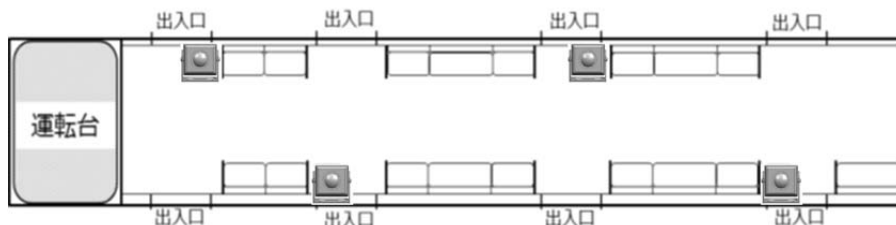


図1. 車内に4箇所設置イメージ

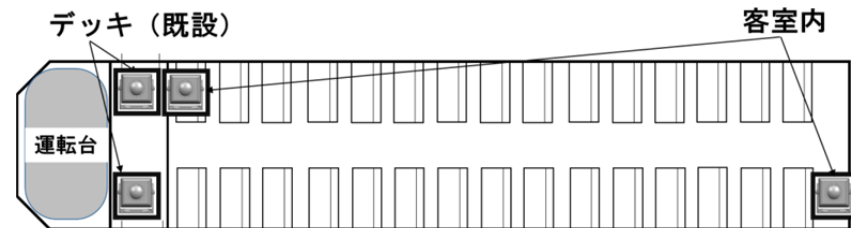


図2. 車内に2箇所設置イメージ

〔参考〕新幹線における犯罪防止 これまでの主な取り組み①

防犯カメラ（車内） SOSボタン

- 防犯カメラは常時録画、運転台で画像確認可能
- SOSボタンが押下されると、運転台・車掌室でアラームが鳴動
乗務員との通話が可能（一部車両を除く）
- 緊急時におけるSOSボタンの活用を車内放送、テロップ等で周知



デッキ部カメラ

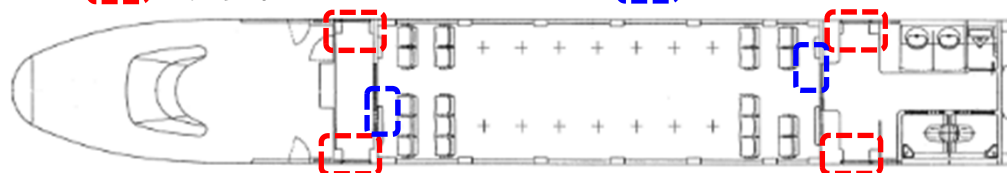


客室内カメラ

連携



運転台モニタ

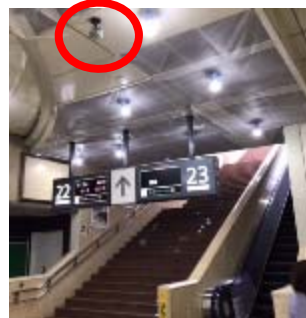


SOSボタン

防犯カメラ（駅）



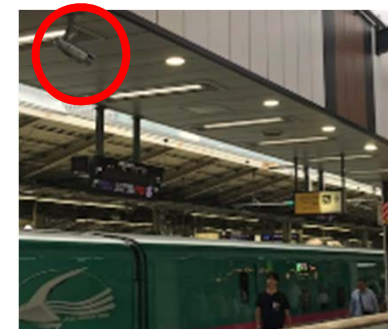
改札付近



エスカレーター・階段付近



ホーム



〔参考〕新幹線における犯罪防止 これまでの主な取り組み②

警備巡回



ホーム



駅構内



車内警乗

- 社員による巡回強化（企画部門社員等含む）
- 警備員を増員し、駅巡回や列車警乗を実施
- 警戒腕章の着用



お客さまへの周知



ホーム



車内

- 放送、テロップによる呼びかけ（駅構内、列車内）
「警戒を強化中」
「不審物・気がかりなことは係員にお知らせを」
「危険物は持ち込み禁止」
「緊急事態発生時には車内SOSボタンの使用を」

警察との連携



テロ対応訓練



大規模イベント時の
立哨警備

車内持ち込み禁止

- 東海道新幹線列車火災事故を受けて、可燃性液体の車内持ち込みを禁止（2016年4月～）



〔参考〕新幹線における犯罪防止 東海道新幹線殺傷事件を受けた取り組み

車内警備の強化

- 警備員の増強による警乗強化、警察との連携

防犯・護身用具の配備

- 乗務員等が使用する防犯・護身用具の車内配備を検討（具体的な用具は検討中）

医療器具の配備拡充

- 従前の応急処置用医療器具に加え、応急救護品等の医療用品の配備拡充を検討

教育・訓練の実施

- 警察、警備会社、グループ会社と連携し、不測の事態への対応に関する教育・訓練を検討

緊急時の情報共有手段の確保

- タブレット端末やスマートフォンを活用した、乗務員間、乗務員と指令間の情報共有を検討

車内防犯カメラの拡大

- 全新幹線車両に防犯カメラを設置（廃車予定の一部車両を除く）